

第4回ごみ処理研究部会（第3部会）（要旨）

日 時 平成23年8月3日（水）14時00分
場 所 南部総合福祉センター 2階会議室
出席者 部会委員12名、事務局5名
(欠席者：糸満市、南城市、糸満市住民委員)

次 第

開会あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・サザンクリーンセンター推進協議会 事務局長 知花賢正

1. 委嘱状交付
2. 正副部会長の選出について
3. 前回の会議録の確認について・・・・・・・・・・資料-1
4. アンケートの結果について
 「家庭系ごみ」・・・・・・・・・・資料-2
 「事業系ごみ」・・・・・・・・・・資料-3
5. 今後の取り組みについて・・・・・・・・・・資料-4
6. その他

- ・サザン協事業として6市町で統一して生ごみを回収することができないか。(住民委員)
- ・転入してきた住民に対して市町村はポスターだけを配布しているのか。それともきちんと分別の説明をしているのか。分別ができていないことに繋がっているので分別の例示をするなどして周知を徹底してほしい。(南城市住民委員)
- ・県内の先進地視察は地域の子供会や老人会、婦人会は参加できないのか。地域で計画した場合サザン協で地域と事業所(現場)との仲介をしてほしい。(住民委員)
- ・16分別をしている名護市を視察したい。(住民委員)
- ・ペットボトルの再生処理工場を視察したい。(豊見城市)
- ・資源ごみを袋で出しているところとカゴで出しているところがある。カゴのほうが袋など余分なものが必要なく楽そうな感じがするが、回収された後のカゴの片づけがどうなっているのか気になる。その辺も統一してほしい。
アンケート結果の自由意見を見ても各市町バラバラの意見である。これも分別が統一されていないことによるものだろう。(住民委員)
- ・例えば缶の袋の中に瓶が一本混ざっていてそのまま回収されると割れたりして大変危険である。働き側のことも考えてきちんと分別するべきである。
市町村で配布している分別のポスターを2倍ほどに拡大して公民館など人が集まる場所にはってほしい。(住民委員)

【決定・確認事項】

- ① 部会長に糸満市住民代表の新崎政利氏、副部会長に諸見里一氏 選出
- ② 先進地視察の場所や日程については事務局に一任する。